



プレキャストは配合条件や使用材料に自由度があ

るはずで、一方で蒸気養生と塩分浸透性や凍結融解性能などに

本間 いろいろな問題提起をして頂きました。確かにプレキャスト

本間 プレキャスト製品は工場レベルで不良品を廃棄しなければ

(続く)

プレキャストの品質は本当に優れているか

本間 岡本さんからの話題提供で、プレキャストでは基本的に工期

本間 いろいろな問題提起をして頂きました。確かにプレキャスト

本間 プレキャスト製品は工場レベルで不良品を廃棄しなければ

●プレキャストの品質は本当に優れているか

得ないので、どこで切ってつなぐかという副次的な技術的課題もあ

本間 いろいろな問題提起をして頂きました。確かにプレキャスト

本間 いろいろな問題提起をして頂きました。確かにプレキャスト

本間 プレキャスト製品は工場レベルで不良品を廃棄しなければ

プレキャスト活用へ向け 多彩な切り口で意見交換

コンクリート 技術交流会

第8回コンクリート技術交流会(主催、日本コンクリート技術)が11月2日、KFCホール(東京都墨田区)で開催され、「コンクリート工の生産性向上に向けた施工性の改善提案」をテーマにパネルディスカッションが行われた。

- パネリスト
- 渡辺 博志 (土木研究所)
 - 橋詰 幸信 (大成建設)
 - 岡本 大 (鉄道総合技術研究所)
 - 中積 健一 (三井住友建設)
 - 河野 一徳 (日本コンクリート技術)
- コーディネーター
- 本間 淳史(東日本高速道路)

中積氏が「橋梁工事で取り組んできたP・Ca化による生産性向上」事例と考察、施工者としての思い、河野氏が「P・Ca埋設型枠の活用に関する一提案」開発・製造・施工に携わってきた立場から思うこと」と題して話題提供を行い、会場を交えた意見交換を行った。

河野 現場では良いことをやっているのに施工者側のPR不足で理解が広がらないとか、発注側も管

本間 鉄道分野では積極的な新しい事に取り組んでいる印象があるのですが、岡本さんいかがですか。

本間 現段階では生産性向上というよりも、施工環境が厳しくて必要に迫られて取り組んでいるのが実情です。

デイスカッションの前半では、渡辺氏が「コンクリートの生産性向上に向けた取り組み」品質確保の両立と今後の展望、橋詰氏が「P・Ca埋設型枠の活用に関する一提案」と題して、また後半は岡本氏が「鉄道事業における生産性向上の取組み」コンクリート鉄道のプレキャスト技術、

●生産性向上に向けた現場の取り組みに関する情報共有が不十分

本間 河野さんから現場でやってきたことの評価やアピール、情報のシエアが足りなかったという指摘がありました。

本間 現段階では生産性向上というよりも、施工環境が厳しくて必要に迫られて取り組んでいるのが実情です。

本間 プレキャスト製品は工場レベルで不良品を廃棄しなければ

